

(2) 教科指導等

講座名	【中学校国語】不安解消！授業改善につなげる学習評価		
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・ 国立教育政策研究所 教育課程調査官 杉本 直美	キーワード	育成を目指す資質・能力 指導と評価の一体化 授業改善
期日	9月14日(火)	会場	中部会場
<プロフィール> 2015- 現職 2009-2015 国立教育政策研究所教育課程研究センター 学力調査官・教育課程調査官		<ねらい> 新しい学習評価の考え方や、生徒の学習状況を適切に評価するポイントを理解し、自身の授業改善に生かす。	
<著書・論文 他> ○中学校国語科 単元を通して課題解決をめざす言語活動プラン15[共著](東洋館出版社)2015 ○読書生活デザインノート[監修](全国学校図書館協議会)2013 ○読書生活をひらく「読書ノート」(はじめよう学校図書館7)(全国学校図書館協議会)2013 ○自立した読み手が育つ読書生活デザイン力(東洋館出版社)2010		<内容> [講義・演習] ・中学校国語科の指導と評価 ～資質・能力を確実に育成するために～	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【中学校社会】全面実施に対応！学習評価が変わると授業も変わる(公民的分野)		
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・ 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小栗 英樹	キーワード	指導と評価の一体化 単元構想 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 深い学び
期日	10月12日(火)	会場	中部会場
<プロフィール> 2018- 現職 ○宇都宮市教育委員会事務局学校教育課 副主幹・指導主事 ○宇都宮大学教育学部附属中学校 ○中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 専門的作業等協力者 ○高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編 専門的作業等協力者 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会 調査研究協力者		<ねらい> 学習指導要領を踏まえた評価のポイントや生徒の学習状況の見取り方について学び、授業改善につなげる。	
<著書・論文 他>		<内容> [講義・演習] ・学習評価から授業改善を考える ～深い学びの実現に向けて～	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【中学校数学】 「データの活用」が未来を変える！～批判的に考察し、よりよい問題解決をめざす新たな学力観～		
講師	東京学芸大学 教授 西村 圭一	キーワード	データの活用 批判的に考察する 教科等横断的な視点 問題解決能力 他者との協働
期日	10月4日(月)	会場	中部会場
<プロフィール>		<ねらい>	
2016- 現職 2011- 東京学芸大学教育学部数学科教育学分野准教授 2009-2011 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部主任研究官 東京学芸大学国際中等教育学校教諭 東京都立高等学校教諭 ○2015, 2016 鳥取県教育センター講師		社会生活などの様々な場面において必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて問題を解決したり意思決定したりするなど、教科等横断的な視点に立ってこれからの社会に必要とされる資質・能力を育成する数学の授業づくりについて学ぶ。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○中学校・高等学校数学科 授業力を育む教育実習(東京学芸大学出版会)2018 ○真の問題解決能力を育てる数学授業-資質・能力の育成を目指して-(明治図書)2016 ○数学的モデル化を遂行する力を育成する教材開発とその実践に関する研究(東洋館出版社)2012 ○高等学校 数学教育の新展開[共著](聖文新社)2011 ○高等学校新学習指導要領の展開 数学編[共著](明治図書)2010 ○中学校新数学科 活用型学習の実践事例集 豊かに生きる力をはぐくむ数学授業[編著](明治図書)2010		[講義] ・「データの活用」と新たな学力観 [講義・演習] ・批判的に考察し、よりよい問題解決をめざす授業づくり	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【中学校理科】見取りで授業が変わる！～授業改善につながる学習評価のあり方～		
講師	東京学芸大学 教授 宮内 卓也	キーワード	授業改善 学習評価 評価規準 指導と評価の一体化 資質・能力の育成 見方・考え方 探究の過程
期日	10月22日(金)	会場	中部会場
<プロフィール>		<ねらい>	
2020- 現職 2016-2020 東京学芸大学准教授 2015-2016 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭 1997-2015 東京学芸大学附属世田谷中学校教諭 1989-1997 八王子市立中学校教諭		生徒に育成すべき資質・能力を身につけさせるために、生徒の「何を」「どのように」見取るのか等、学習評価のあり方を具体的に考え、見取りを生かした授業改善について考える。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○中学校 新学習指導要領 理科の授業づくり(明治図書)2018 ○中学校理科の授業づくり はじめの一步(明治図書)2016 ○中学校理科 授業を変える板書の工夫45(明治図書)2015 ○イラストでわかるおもしろい化学の世界1～3(東洋館出版)2011 ○板書とワークシートで見る全単元・全時間のすべて 中学校理科3年1分野(東洋館出版)2009		[講義・演習] ・生徒の「何を」「どのように」見取るのか ～授業改善に向けた学習評価のあり方を具体的に考える～	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【中学校・高等学校音楽】 今こそ、我が国の音楽文化への愛着を！～日本歌曲を教材とした歌唱の指導の実際～		
講師	玉川大学 准教授 渡辺 明子	キーワード	我が国や郷土の音楽 音楽文化 日本歌曲 歌唱分野
期日	9月14日(火)	会場	まなびタウンとうはく
<プロフィール>		<ねらい>	
2018- 玉川大学芸術学部准教授 2007-2018 聖徳大学児童学部講師、准教授 1987 武蔵野音楽大学大学院(声楽専攻)修了 1985 武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業		日本歌曲を教材とした歌唱の学習活動をととして、我が国の音楽文化のよさを味わい、愛着をもち、尊重する態度を養うための指導のあり方について理解を深め、実践的指導力を高める。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○音楽表現遊びを中心としたイベント型子育て支援プログラムの意義(聖徳大学生涯学習研究所研究紀要)2017 ○教員養成における音楽表現の指導法～ポルトガル、カーザ・ダ・ムジカでのワークショップ・リーダー研修報告～(玉川大学芸術学部研究紀要)2016 ○単独歌唱を経験することによる効果～保育者養成における集団授業の中で～(FD)紀要 聖徳の教え育む技法)2015 ○保育者・教師をめざすあなたへ「音楽の理論」[共著](共同音楽出版社)2015 ○イタリア・ベルカント唱法における、日本語歌唱の表現(聖徳大学生涯学習研究所研究紀要)2014 ○声楽初学者に対する、歌唱指導法の一考察～教員の言葉が学生に与える影響～(FD)紀要 聖徳大学教え育む技法)2014		[実技・講義] ・我が国の音楽文化のよさを味わう歌唱とは ～日本歌曲を教材に～ [講義・演習] ・我が国の音楽文化を尊重する態度を養う指導のあり方	
備考			

講座名	【小学校体育】 誰もが達成感を感じられる授業づくりに向けて～日々の授業における指導と評価の一体化～		
講師	日本体育大学 教授 白旗 和也	キーワード	指導と評価の一体化 達成感 スポーツライフ 運動意欲の向上
期日	7月2日(金)	会場	中部会場
<プロフィール>		<ねらい>	
2013- 日本体育大学教授 2008-2012 文部科学省スポーツ青少年局体育参事官付教科調査官・ 国立教育政策研究所教育課程調査官 2006-2007 東京都小中一貫準備校副校長 2003-2005 世田谷区教育委員会指導主事 2002- 東京都教育庁指導部課務担当係長 -2001 東京都小学校教諭 ○日本体育大学スポーツプロモーションオフィスディレクター ○2018鳥取県教育センター研修講師		単元をととして育成すべき資質・能力を明確にし、指導と評価の一体化を図ることによって、児童の運動意欲の向上につながる授業実践力を高める。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○日本体育大学教授がおしえる!大人も知らない!?スポーツの実は…スポーツが100倍楽しくなる事典(文響社)2020 ○7日間で授業のつくり方をマスター!体育指導超入門(明治図書出版)2020 ○これだけは知っておきたい新「体育授業」の基本(東洋館出版社)2019 ○小学校体育 はじめの一步(こうぶんエデュ)(光文書院)2019 ○平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 体育編(明治図書出版)2017 ○これだけは知っておきたい「低学年体育」の基本(東洋館出版社)2016 ○これだけは知っておきたい「体づくり運動」の基本(東洋館出版社)2014		[講義] ・体育科で育成をめざす資質・能力 ～課題を見つけ、解決に向けた学習過程と評価～ [講義・演習] ・指導と評価の一体化を図り、児童の運動意欲の向上につなげる授業づくり	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【中学校技術】ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング		
講師	特定非営利活動法人「みんなのコード」 代表理事 利根川 裕太 指導講師 千石 一朗	キーワード	双方向性のあるコンテンツ プログラミング 情報の技術 模擬授業体験
期日	10月28日(木)	会場	中部会場
<プロフィール> (利根川裕太) ○プログラミング教育指導者研修会講師 ○文部科学省「小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議」委員 ○内閣官房 教育再生実行会議「技術革新ワーキング・グループ」有識者 (千石一朗) 2020- 現職 2009-2019 東京都公立中学校教諭 ○CADエンジニアとして企業就職の後、警備会社の家庭用セキュリティシステムの開発に従事		<ねらい> 「D情報の技術」の「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」について、模擬授業体験をとおして、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導力の向上を図る。	
<著書・論文 他> (利根川裕太) ○なぜ、いま学校でプログラミングを学ぶのか-はじまる「プログラミング教育」必修化(技術評論社)2020 ○先生のための小学校プログラミング教育がよくわかる本[共著](翔泳社)2017 (千石一朗) ○新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology[著作関係者](東京書籍)2020		<内容> [講義] ・これからの情報教育と中学校技術分野に期待すること [講義・演習] ・「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」の演習と具体的な授業づくり	
備考			

講座名	【中学校英語】 生徒の伝えたい気持ちを大切にしたい言語活動～教室での言語活動のレベルアップをめざして～		
講師	宇都宮大学共同教育学部教育学研究科 専門職学位課程教育実践高度化専攻 助教 田村 岳充	キーワード	コミュニケーション能力 授業づくり 目的・場面・状況の設定 必然性のある言語活動
期日	9月16日(木)	会場	中部会場
<プロフィール> 2020- 現職 2018-2019 宇都宮大学教育学部助教 2009-2017 宇都宮大学教育学部附属中学校教諭 2004-2008 宇都宮市公立中学校教諭 2001-2003 在フィリピン日本大使館附属マニラ日本人学校教諭 1994-2000 宇都宮市公立中学校教諭 ○2017, 2018 NHKラジオ「基礎英語2」講師 ○2019, 2020 NHKラジオ「基礎英語1」講師 ○2019鳥取県教育センター研修講師		<ねらい> 学習指導要領の趣旨を踏まえ、コミュニケーションの目的、場面、状況等に応じて表現する力を高める授業づくりについて学ぶ。	
<著書・論文 他> ○1週間でマスター中1の英文法(NHK出版)2021 ○音声DL BOOK イラストで覚える 中1の英単語500(NHK出版)2020 ○NHK基礎英語2 書いて確認 1週間で仕上げる中2の英文法(語学シリーズ)[共著](NHK出版)2018 ○NHKラジオ基礎英語1(NHKテキスト)(NHK出版)2019,2020 ○NHKラジオ基礎英語2(NHKテキスト)(NHK出版)2018 ○英語教員を支えるネットワークの重要性:頼れる同僚の存在と英語教員のスキル向上との関連(関東甲信越英語教育学会紀要)2020 ○既習の知識・技能の活用を促進するための授業展開の工夫(英語授業研究会紀要)2010 ○小・中の授業をつなぐ!教室英語使い方ガイド&フレーズ集(新時代の英語教育シリーズ)(明治図書)2010 ○聞く・話す・読む・書く 4技能を高める!コミュニケーション・ワーク37(授業をグリーンと楽しくする英語教材シリーズ)(明治図書)2008		<内容> [講義・演習] ・生徒の伝えたい気持ちを大切にしたい必然性のある言語活動～コミュニケーションの目的・場面・状況の設定を考える～	
備考	・講師がWeb会議システムを使って遠隔で講義等を行う。		

講座名	【小学校・中学校道徳】 子どもと一緒に楽しもう！考えさせたいこと、気づかせたいことを明確にした深い学びのある道徳科の授業			
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也		キーワード	考え、議論する道徳 道徳的価値 児童生徒の実態 教材の活用 中心発問
期日	6月28日(月)	会場	中部会場	<ねらい>
<プロフィール> 2017- 現職 1990- 埼玉県熊谷市及び深谷市内公立小学校教諭及び主幹教諭、埼玉県教育委員会生徒指導課指導主事、深谷市教育委員会学校教育課課長補佐兼指導主事、深谷市内公立小学校教頭、小学校長兼幼稚園長				指導の明確な意図に基づいて、子どもの学びの姿を予想しながら1単位時間の授業を構想することとおして、実践的指導力の向上を図る。
				<内容>
<著書・論文 他> ○こだわりの道徳授業レシピ あなたはどんな授業がお好みですか?(東洋館出版)2020 ○道徳教育(明治図書)毎月掲載 ○道徳と特別活動(文溪堂)毎月掲載				[講義] ・「考え、議論する道徳」のめざすもの [講義・演習] ・指導の明確な意図に基づく道徳科の授業づくり ～子どもの学びの姿をとおして～
				備考

講座名	【小学校・中学校総合的な学習の時間】 よりよく課題を解決し、自己の生き方を考える子どもを育てる ～子どもの姿をとおして構想するスパイラルに繰り返す探究のプロセス～			
講師	文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 渋谷 一典		キーワード	探究的な見方・考え方 探究のプロセス 探究課題 自己の生き方 全体計画 カリキュラム・マネジメント 指導と評価
期日	8月20日(金)	会場	中部会場	<ねらい>
<プロフィール> 2017- 現職 2009-2016 札幌市教育委員会指導主事 -2008 札幌市公立小学校教諭				総合的な学習の時間の特徴に応じた学習のあり方について具体的な子どもの姿をとおして学び、実践的指導力の向上を図る。
				<内容>
<著書・論文 他> ○生活科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善(初等教育資料/東洋館出版社)2020 ○新学習指導要領具体化のポイント 生活科、新学習指導要領具体化のポイント 総合的な学習の時間(初等教育資料/東洋館出版社)2020 ○生活科における資質・能力の育成に向けた授業づくり(初等教育資料/東洋館出版社)2018 ○生活科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(初等教育資料/東洋館出版社)2017				[講義] ・総合的な学習の時間の特徴に応じた学習のあり方 ～目標とする資質・能力を育む探究課題の設定と全体計画の作成～ [講義・演習] ・複数サイクルでつくる探究的な学習の実際
				備考

講座名	【小学校・中学校特別活動】なるほど！学級活動(3)の授業づくり ～「なりたい自分」「よりよい自分」をめざす力を育むための授業改善とは？～		
講師	国立教育政策研究所 教育課程調査官 安部 恭子	キーワード	学習評価 指導と評価の一体化 キャリア教育
期日	10月29日(金)	会場	中部会場
<プロフィール> 2015- 現職 2013-2014 さいたま市公立小学校教頭 2008-2012 さいたま市教育委員会 2003-2007 さいたま市公立小学校教諭 -2002 埼玉県公立小学校教諭 ○2018, 2020鳥取県教育センター研修講師		<ねらい> 学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の授業づくりと学習評価のあり方について理解を深め、授業改善の視点を得ることをとおして、実践的指導力を高める。	
<著書・論文 他> ○「みんな」の学級経営 1年生～6年生(東洋館出版)2018 ○特別活動指導資料の効果的な活用11「特別活動における評価の工夫」(道徳と特別活動/文溪堂)2017 ○特集Ⅰ 指導と評価の一体化③特別活動(初等教育資料/東洋館出版社)2020年3月号 ○特集Ⅱ 特別活動 よりよい生活や社会をつくる特別活動(初等教育資料/東洋館出版社)2020年3月号		<内容> [講義] ・学級活動(3)の授業づくりと学習評価のあり方 [講義・演習] ・「なりたい自分」「よりよい自分」をめざす力を育むための授業改善	
備考			

講座名	【高等学校農業】農業からの発信！鳥取県の地域を支える人材育成		
講師	岐阜県立岐阜農林高等学校 教諭 足立 伸幸	キーワード	スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 専門的職業人 持続的な発展 地域ブランド
期日	6月11日(金)	会場	県立倉吉農業高等学校
<プロフィール>		<ねらい> スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校の実践から専門的職業人の育成について学び、農業の視点から鳥取県の地域を支える人材育成を考える。	
<著書・論文 他>		<内容> [実践紹介] ・地域の食・農・環境の持続的な発展に貢献する人材の育成 ～新たな技術や発想を取り入れた農業を創造する “G I N O B r a n d”を目指して～ [協議] ・鳥取県の地域を支える人材を育成する農業科の取組	
備考	・講師がW e b 会議システムを使って遠隔で実践紹介等を行う。		

講座名	【全教科／対話による深い学び】 アタマとココロをフル回転！見つけてみよう、豊かに広がる子どもの学び		
講師	県立博物館学芸員・専門員		キーワード 学びの価値 コミュニケーション 対話 ファシリテート 見方・考え方 見取り
期日	11月25日(木)	会場	県立博物館
<プロフィール>		<ねらい> 本物（美術作品）に触れる体験と他者とのやり取りの中で、「心動く」「考える」「読み取る」「感じ取る」「見つめる」「向き合う」「味わう」「没頭する」などを実感することをおして、学びの仕組みに気づき、子どもの心の動きや思い、考えなどを捉える教師としての力を高める。	
<著書・論文 他>		<内容> [演習] ・鑑賞活動をおしてアタマとココロをフル回転！ ～みて、かんじて、かんがえて～ [協議・講義] ・「深い学び」って何だろう？ ～豊かに広がる子どもの学びをめざして～	
備考	・演習は、令和3年度企画展「～SOMPO美術館&鳥取県立博物館のコレクションでつくる～東郷青児、前田寛治と、Parisゆかりの画家たち（仮称）」を活用して実施する。		